

◇ ◇ 第二種研究会発表募集案内 ◇ ◇

●第27回ネットワークソフトウェア研究会

委員長 菊間一宏（日大）

研究会の内容

ネットワークシステム研専配下の第二種研究会であり、ネットワークの変革がソフトウェア技術にもたらすインパクトや、ソフトウェアの技術革新がネットワークサービスに及ぼす変革に対して問題意識を持ち、ネットワークソフトウェア技術に対する要求条件や実現技術について議論をします。本研究会では、企業・大学における研究・教育上の課題のみならず、製品開発や保守運用上の課題など、研究から実用化までを通した幅広い課題を対象として解決法を探ります。

期日 2022年1月27日（木）、28日（金）

会場 広島大学東千田キャンパス（広島市）

[アクセス] <https://www.hiroshima-u.ac.jp/access/sendai>

※現地・オンライン同時開催を予定しておりますが、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、本研究会は会場変更・オンライン開催のみとなる可能性があります。最新の状況は募集案内を御確認下さい。

募集案内：<http://www.ieice.org/cs/ns/nws/27/announce/>

テーマ：After/With コロナに向けたネットワークソフトウェア技術＋一般

概要

コロナ禍によってテレワークが急速に進んできました。オンライン会議やリモートデスクトップアクセスなどネットワークを介して様々なサービスが提供されています。コロナ禍が落ち着いて After コロナや With コロナと言われる時代となってもテレワークの流れは進んでいくと予想されます。テレワークの普及によって多種多様なデバイスがいろいろなネットワーク環境を介してサービスに接続されていくため、ネットワーク品質やセキュリティレベルなど、ネットワークには様々な要件が求められてくると想定されます。本研究会では、After/With コロナ時代に要求されるネットワークソフトウェア技術について、幅広く課題や研究アプローチに関する発表を募り、議論を行います。

【本研究会の特徴】

参加者の産学のバランスがよく、更に時間にとらわれず活発に議論する風土がありますので、発表者はさまざまな角度から多数のフィードバックを得ることができます。また、他研究会には例を見ない独特の発表形式を採用しておりますので、発表者は目的に応じた議論を自由に展開することができます。これにより、検討結果の発表だけでなく検討経過や問題提起等についても発表・議論して頂けます。

また、本研究会では、議論を促進することを目的としてディスカッション賞を設けています。有意義なディスカッションを頂きました参加者が受賞対象となります。是非活発な議論をお願い致します。

【発表形式】 下記2種類の発表形式からお選び下さい。

- ・一般講演：掘り下げた議論を御希望の方向け

1件あたり標準で50分。発表者からのプレゼンテーションは20～25分以内とし、残りの時間を質疑応答に割り当てることで、深く掘り下げた議論や多様な視点からの広範なフィードバック獲得が可能となります。

- ・ポジションペーパー：構想段階等にて意見を収集したい方向け

1件あたり標準で20分。発表者からのプレゼンテーションは5～10分以内とし、残りの時間を質疑応答に割り当てます。一般講演するほどの内容ではないが、是非意見交換をしたい内容などについて、発表者の目的に応じた自由な形式で議論して頂けます。

【各種締切】

一般講演申込：2021年12月10日（金）

ポジションペーパー講演申込：2021年12月10日（金）

研究会参加申込：2021年12月17日（金）

原稿提出：2022年1月14日（金）

参加費振込：2022年1月19日（水）

【参加費（予定）】

一般・学生：¥3,000

【講演・参加申込方法・原稿提出方法】 下記ウェブページを参照下さい。

<http://www.ieice.org/cs/ns/nws/27/announce/>

【講演・参加申込先・原稿提出先】

風戸雄太（日本電信電話）

〒180-8585 東京都武蔵野市緑町 3-9-11

TEL〔0422〕 59-6754

E-mail : ns-nws-secretariat@mail.ieice.org

【研究会全般に関する問合せ先】

谷田康司 (NTT)

TEL〔0422〕 59-4833

主催 ネットワークソフトウェア研究会運営委員会

<http://www.ieice.org/cs/ns/nws/>